

DB2 Information Management Software

IBM DB2 Content Manager V8



IBMエンタープライズ・コンテンツ管理により企業コンテンツを統合管理、 e-ビジネス・オンデマンド実現のためのITインフラを提供

- オープンな環境で企業コンテンツを統合・管理・利用
- 多種多様なコンテンツに柔軟に対応する機能拡張性
- 部門レベルからエンタープライズ・レベルまでスケーラビリティを実現
- 既存のIT資産の有効活用

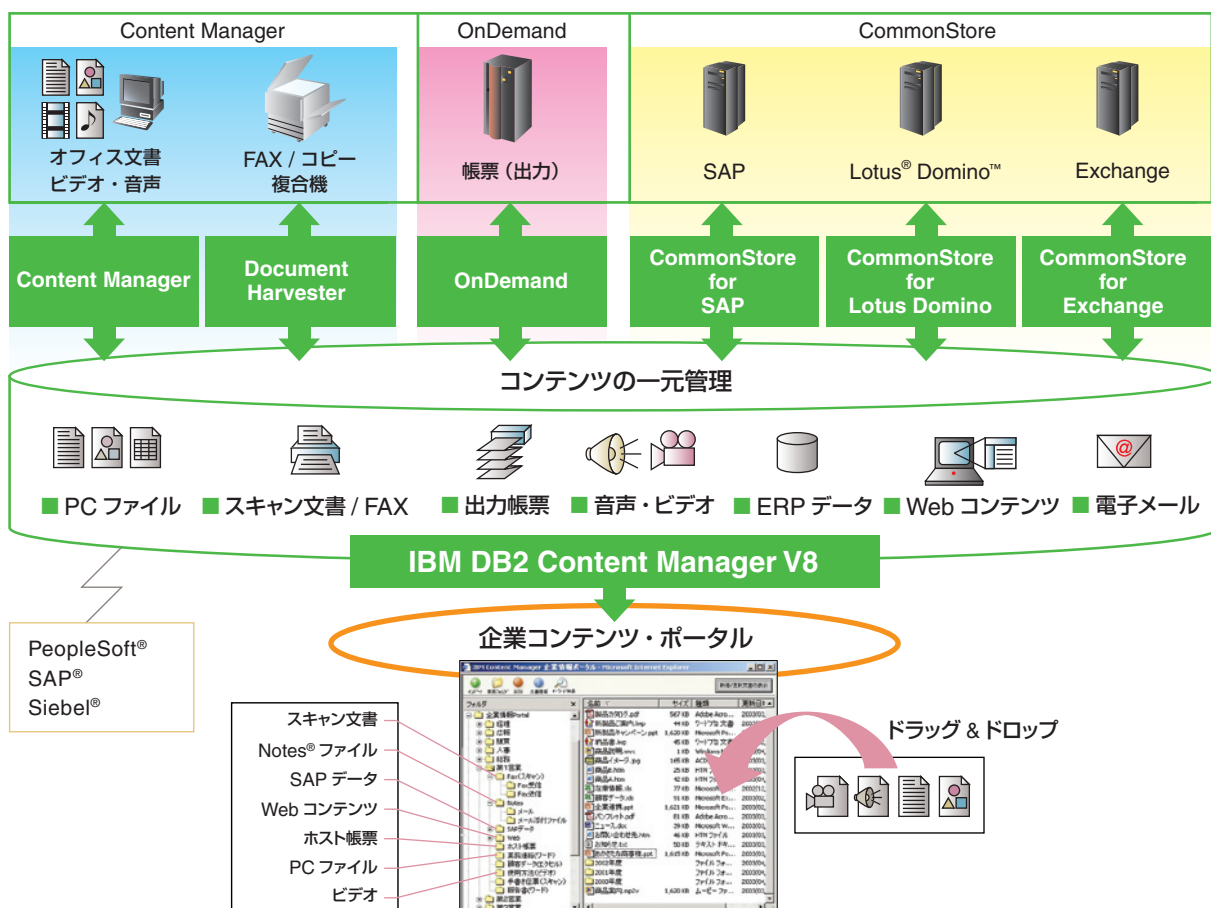
多くの企業において、多種多様なコンテンツが飛躍的に増加しています。企業コンテンツは、ファックスや請求書、経理報告書などのオフィス文書、

それらを電子化したコンテンツ、電子メール、イメージ・ファイル、動画など多岐にわたります。このようなコンテンツが一元管理されていない状況では、ユーザーがこれらの情報を素早く取り出すことができずに、効率の低下をもたらします。そこで大量に存在するコンテンツから必要な情報を、迅速に、どこからでも、リアルタイムにユーザーが検索して利用できる環境が、e-ビジネス・オンデマンド時代に求められています。

こうした要件を満たす概念が「IBMエンタープライズ・コンテンツ管理」で、それを実現するのが「IBM DB2 Content Manager」製品群です。

その製品群でも中心となるDB2 Content Manager V8は、一貫性のあるオープンで包括的なフレームワークのもとで、さまざまな種類のデジタル化されたコンテンツを統合する機能を持ち、コンテンツを安全に登録、管理、検索、閲覧することができます。同時に部門レベルからエンタープライズ・レベルまでのスケーラブルな情報管理が可能となります。

さらに、オフィスですでに導入されているシステムや資産を有効利用することにより、費用の低減と新しいビジネス形態を生み出すことが可能になります。



DB2 Content Manager V8の概要

多種多様で大量に存在する企業コンテンツの統合、管理、利用をオープンな環境で実現

DB2 Content Manager V8はIBMエンタープライズ・コンテンツ管理ポートフォリオの中核となるソフトウェアで、重要なビジネス情報をオンデマンドで管理、アクセス、統合するための基盤となります。信頼性とスケーラビリティ、そして将来への機能拡張性を備え、オープンで戦略的なコンテンツ管理プラットフォームを提供します。

オフィス文書、HTMLベースとXMLベースのWebコンテンツ、イメージ・ファイル、デジタル・オーディオやビデオといったリッチ・メディアなど、さまざまな

形態のコンテンツを統合管理することができます。オフィス文書統合管理の例では、電子帳票管理ソリューションが挙げられます。DB2 Content Manager製品群の一つ、DB2 Content Manager OnDemandと組み合わせることにより、大容量のコンピューター帳票出力を高速に取り込み、保管。必要なときに電子的に検索閲覧する環境を提供します。

すでにオフィスに導入されているハードウェアやソフトウェア、PeopleSoft、Siebel、SAPアプリケー

ションなどと統合利用ができるシームレスな連携が可能です。それらを共通インフラストラクチャーとして活用することで、TCO (Total Cost of Ownership) が軽減できます。

お客様のご要望に柔軟かつ迅速に対応でき、e-ビジネス・オンデマンド環境に適した、新たなアプリケーションをDB2 Content Manager V8の先進技術を使用して構築することにより、お客様のビジネスにおける優位性を高めることができます。

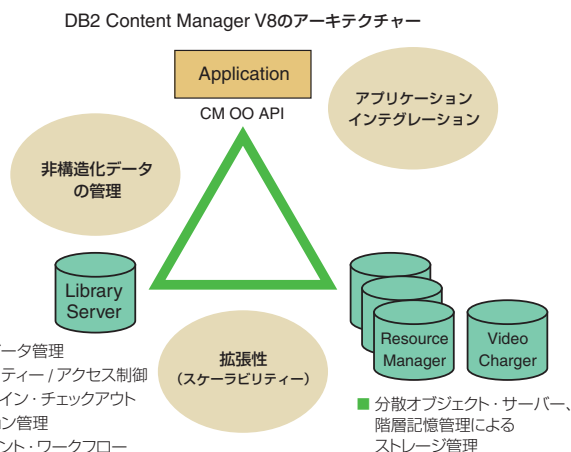
DB2 Content Manager V8の多彩な機能

■ 拡張性に優れたスケーラビリティ

DB2 Content Manager V8は多層構造の分散アーキテクチャーにより、企業規模を問わずに導入できるスケーラビリティと、他のアプリケーションへの拡張性を備えています。

また、企業が大量に保持しているコンテンツの取り込みや、取り込んだコンテンツの閲覧、検索、ワークフロー処理、オブジェクトの配信や二次記憶装置へのオブジェクト移行をハイパフォーマンスに実行することができます。

DB2 Content Manager V8のサポートするプラットフォームは IBM AIX®、Microsoft® Windows NT® / 2000、Sun Solaris® オペレーティングシステムに加えてLinuxも予定されています。



■ 多様なニーズに対応できる全文検索とワークフロー機能

DB2 Content Manager V8が提供するメタ・データとテキスト・ベース文書の両方に対する全文検索機能により、ユーザーは適切な文書を簡単に探し出せます。

さらにDB2 Content Manager V8の文書ルーティング機能により、一貫性のある、繰り返し可能なワークフローを簡単に定義することができます。このワークフロー機能はそれぞれの段階で業務ルールを規定します。このバージョンで、文書ルーティングは次の点が強化されました。

- 分岐機能を持つ事前定義のフロー
- ワーク・ノードの出入口およびユーザー出口のための負荷処理
- 処理の前に完了すべきアイテムを待つコレクション・ポイント機能
- 複数のワーク・ノードから同時に操作できるワーク・リスト

オプションとして、アドバンスド・ワークフロー機能である、意思決定点、コレクション・ポイント付きのパラレル・ルーティングとシリアル・ルーティング、サブ・ワークフロー、意思決定自動化のためのデータ変数サポートなどがあります。さまざまな運用業務で文書を管理するために必要となる、複雑な処理を図示するためのGUIも含まれています。

■ 堅牢でオープンなフレームワーク

DB2 Content Manager V8はオープンな設計に基づいた優れたAPI群を公開しており、ERP (Enterprise Resource Planning) やCRM (Customer Relationship Management) など、さまざまなソリューションに対してコンテンツ管理機能を提供します。Java™、JavaBeans™、C++ など共通で利便性のある開発環境とAPI群により、アプリケーション開発が効率的になり、さまざまな形式のコンテンツのフェデレーテッド・サーチ (連合/連携検索)、ワークフロー、アクセス制御、システム管理

を行うことができます。

DB2 Content Manager V8のモジュール型アーキテクチャーは完全ユニコードに対応しており、セキュアな集中管理を維持できるように最適化されています。

またDB2 Content Manager V8はHTTP、FTP、RTSPといったプロトコルや、JDBC、ODMAなどのAPI、データベース操作用語SQLなど最新かつ業界標準の言語や開発環境をサポートします。

DB2 Content Manager製品群によるIBMエンタープライズ・コンテンツ管理の活用例

■ オフィス文書管理

オフィス文書の統合管理システムの構築によりコスト削減、業務効率向上を実現します。コンピューターに保存されたファイル、書類をスキャンしたデジタル情報、電子メールなどオフィスにあるコンテンツを一元的に管理することで、情報の効率的な検索/表示が可能になり、業務効率を上げることができます。また紙の保管費用の大幅な削減、サーバー統合による運用費用の軽減によりコスト削減を推進できます。

■ 技術情報管理

製造業では、図面をはじめとする大量の技術文書を管理し、必要ときに検索、閲覧できるシステムが容易に構築できるので、技術者の生産性が向上します。

■ 電子帳票管理

ホストの印刷帳票の電子化でペーパーレスによるコスト削減と、コンテンツの一元管理による効率の向上が実現します。さらに「電子計算機を使用して作成する国税関係帳簿書類の保存方法等の特例に関する法律(以下 電子帳簿保存法)」で規定される保存方法に対応します。

■ 電子素材管理

電子カタログなどに使用する図面、仕様書、写真などを一元管理することにより、電子カタログの素材を効率よく管理、利用できます。

■ 大規模な証書のスキャンと管理

紙の状態で保持している大量の証書類をスキャンして一元管理することにより、保管コストの削減、業務効率向上の達成が可能です。



■ 柔軟なアプリケーションの開発に対応できる拡張データ・モデル

先進テクノロジーである拡張データ・モデリング機能により、エンタープライズ・コンテンツ環境で実世界のオブジェクトの関連性を容易に、また多様に表現できるので、アプリケーション開発の労力を大幅に削減できます。DB2 Content Manager V8は従来のデータ・モデルを拡張

して、複雑な表現が可能なXML対応の物理データ・モデルを実現しています。これにより、さまざまな種類のコンテンツにまたがる構造的な情報と関連情報を取り込むことができます。

■ 安全で操作しやすい管理

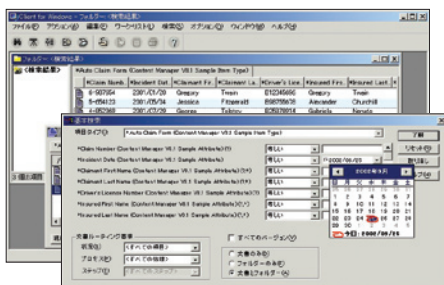
DB2 Content Manager V8は、DB2 Information Integrator for Contentとの間で共通のシステム管理インターフェースを用いて、コンテンツ、サーバー、ユーザー、ユーザーを束ねたグループ管理をすることが

可能です。LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) 対応により、ユーザー認証、アクセス権限などを一元管理することで、システム管理が容易になります。

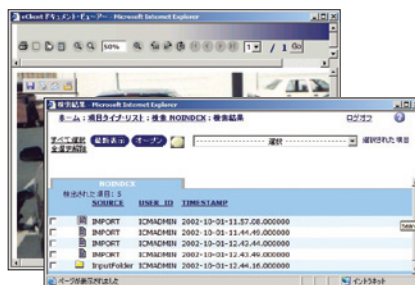
■ 使いやすく高機能のクライアントの提供

DB2 Content Manager V8はパッケージとして利用できるクライアントを用意。Windowsプラットフォームで動作するCMクライアント(Windows)と、プラットフォームを問わずブラウザ上で動作するeClientの2種類を提供しています。両クライアントとも、コンテンツの登録、検索、編集、

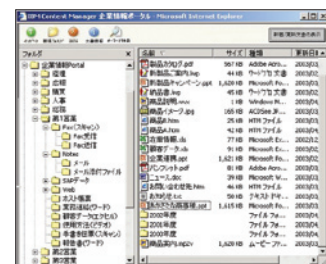
表示等のコンテンツ管理には欠かせない基本機能があります。また、豊富に用意されたAPIを利用して、ユーザーの要求に見合った独自のクライアントを構築することも可能です。



CMクライアント(Windows)



eClient



CMクライアント(カスタム)

IBMエンタープライズ・コンテンツ管理を実現するDB2 Content Manager製品群

多種多様で大量に存在する企業コンテンツを管理

DB2 Content Manager

一貫性のある、オープンで包括的なフレームワークのもとで、さまざまな種類のデジタル化された大容量のコンテンツに対する管理、共有、再利用、アーカイブ保管のための各機能を提供します。

電子メールのアーカイブ/リトリブを実現

DB2 CommonStore for Lotus Domino DB2 CommonStore for Exchange

電子メール本体や添付ファイルをLotus Domino ServerやMicrosoft Exchange Serverからアーカイブ先に格納し、サーバーの負荷軽減によるパフォーマンス改善を実現することで、個人の生産性向上と運用管理負荷の低減を図ります。また、企業資産である電子メールをアーカイブすることにより、電子メール監査のためのシステムを構築することができます。

SAP R/3のデータ、帳票、レポートのアーカイブ

DB2 CommonStore for SAP

SAP R/3のレポート(総勘定元帳、損益計算書等)やDB上のデータをアーカイブします。R/3システムの良好なパフォーマンスを維持し、電子帳簿保存法に適応したシステムを構築することができます。

ポータルに開発環境と連合検索を提供

DB2 Information Integrator for Content

Java、C++、業界標準Webインターフェースを提供し、各種業務ソフトウェアとIBMエンタープライズ・コンテンツ管理を統合する開発環境を提供します。同時にDB2 Content Manager製品群や他社DBへの連合/連携検索機能によりコンテンツの統合を実現します。さらにテキスト・マイニング機能、アドバンスド・ワークフロー機能により、コンテンツの有効利用が可能です。

印刷帳票出力データを電子化

DB2 Content Manager OnDemand

DB2 Content Manager OnDemandの最新テクノロジーを用いることで、印刷帳票、請求書、明細書、財務報告書をe-ビジネスの世界で効率的に活用できます。

ホスト・コンピューターからの印刷帳票出力データを圧縮して取り込み、保存、管理、検索、閲覧を効率的に行うことで、大幅なコスト削減が望めます。お客様からの問い合わせに対しては、より迅速な対応ができるようになり、取引先満足度向上を達成します。さらに電子帳簿保存法にも適応します。

- OnDemandによる印刷データ取り込みの際のインデックス作成(ドキュメント・インデックスとレポート・インデックス)。
- 選択した文書やレポート、レポート・セグメントに基づく文書検索、閲覧、注釈作成、印刷、FAX送信ができます。AFP、PDFなどの文書フォーマットや、行データなどのテキスト・フォーマットに埋め込まれた特定のテキストも検索できます。
- WindowsまたはWebブラウザー・インターフェースにより文書閲覧ができます。
- 論理フォルダーに保管された情報を顧客や口座番号で分類することで、論理的な検索や共通属性に基づいた情報の動的整理を可能にします。

高品質オーディオ、ビデオのストリーミング配信

DB2 Content Manager VideoCharger

MPEG-4、MPEG-2、QuickTime、MP3といった高品質なマルチメディア・データをMulticast、Unicast / On Demandで配信可能です。DB2 Content Manager V8とのシームレスな連携により業界標準フォーマットによる長期保存と高画質配信を同時に実現します。

複合機からDB2 Content Managerへの自動取り込み

Content Manager Document Harvester

複合機からFAX、スキャン・イメージを自動的に取り込んで、DB2 Content Managerへ登録することができ、複合機とのシームレスな連携が可能になります。

DB2 Content Managerのホームページ

ibm.com/jp/software/data/cm/

DB2 Content Managerのお問い合わせは、
CMOffice@jp.ibm.com

IBM製品・サービスの詳細情報については、

IBMホームページ <http://www.ibm.com/jp/>をご利用ください。

お問い合わせは、IBMビジネス・パートナー、製品販売店、弊社営業担当員

または、ダイヤルIBM (☎0120-04-1992)へ。

受付時間:月~金 9:00~18:00 (祝日、12/30~1/3を除く)

携帯電話でおかけのお客様は下記の電話番号をご利用ください。

ダイヤルIBM 044-221-1522(この場合、通話料金はお客様のご負担となります。)

IBM、IBMロゴ、e-business、e-business logo、e-business on demand、e-business on demand logoはIBM Corporationの商標。
AIX、DB2、Domino、LotusおよびNotesはIBM Corporationの商標。
Microsoft、WindowsおよびWindows NTは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標。
JavaおよびすべてのJava関連の商標は、Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標。
他の会社名、製品名、およびサービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標。

'03-09月版



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12
09-03 Printed in Japan

●このカタログに記載されている内容は予告なしに変更する場合があります。●このカタログの情報は2003年9月現在のものです。●製品、サービスなどの詳細については、営業担当員にご相談ください。



G 5 8 8 - 2 5 2 3 - 0 0